

平成23年8月10日

川口市議会議長
篠田 文男 様

派遣(団)名 平成23年度先進都市行政視察
代表者氏名 大 関 修 克

議員派遣報告書

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

- | | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 派遣目的 | <u>①岩倉小学校の食育の取り組みについての調査</u>
<u>②歴史・まちなみを活かした観光の誘客についての調査</u>
<u>③男女共同参画推進センターについての調査</u> |
| 2 派遣場所 | <u>①徳島県美馬市</u> ②岡山県高梁市 ③静岡県浜松市 |
| 3 派遣期間 | 平成23年8月4日(木)～6日(土) (3日間) |
| 4 派遣議員 | 福田 洋子、芦田 芳枝、江袋 正敬、芝崎 正太、
幡野 茂、石橋 俊伸、松本 進、大関 修克 |
| 5 概要 | 別添のとおり |

1. 岩倉小学校の食育の取り組みについて

(1) 取り組み

農業が盛んな地域であるが、一部では不規則で偏った食事をする方が多い。それにより食生活のみだれを招いてしまい、糖尿病による死亡率が高い地域であるとの事。

体力の低下・朝食の乱れ・肥満が多い・偏食との悪循環が多い地域でもある。その改善のきっかけとなったのが、プラスワンスクール事業(2年間の実践)である。

(2) 4つの活動の柱

①学校菜園を活用した給食食材の自給自足

全校学年で田植え

②望ましい生活習慣の確立

残食0の取り組み

早寝・早起き・朝ご飯とうんち

③体験活動を基盤にしたキャリア教育

④家庭・地域との連携

以上を柱として、食育の改善に取り組む。

(3) 料理教室の実施

ふれあい交流給食会の開催

児童自作の「お弁当の日」6年生を設定

5年生に見せる 月曜日に行う

年3回 1回目は1品作る

2回目は2品作る

3回目は全部作る

(4) 所感

給食食材の自給自足により、自然と触れ合い、自ら食物を育てる事で食物への感謝の気持ちが養われた。また料理教室により自ら作る楽しさと、毎日食事を作ってくれる親への感謝の気持ちが養われた。さらに、学校菜園の場所を無料で提供してくれた農家の方が大勢いる事に対して、地域の方々への感謝の気持ちが育成された。

講師を担当してくれた校長先生は、「この取り組みにより、給食の残食率はゼロになった。さらに、食育

を通して生きる力を育てたい」と語っており、本市においても食育の重要性をさらに推進していきたいと思えます。

2、高梁市：歴史、まちなみを活かした観光の誘客についての視察報告

(1) 歴史的風致維持向上計画策定の背景

高梁市には、歴史的文化遺産が多数残されており、また、民族芸能や素朴な民間信仰による祭りなどが暮らしの中に根付き、受け継がれている。ところが、過疎化や少子化・高齢化が進む中、歴史的な街並みには空き家や空き地が増えるようになり、歴史的町並みの連続性が失われつつあるとともに、伝統行事や伝統芸能の保存継承についても後継者が少なく重要な課題になり、大切な歴史的遺産が失われてからでは、取り戻すことができないことから、まち全体の歴史的な風情を活かした、まちづくりを推進するため「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」の施行（H20年11月4日）を契機として高梁市歴史的風致維持向上計画を策定し、歴史的風致の維持及び向上を図っていくこととした。

(2) 計画の策定

●連絡協議会（3回）・法定協議会（3回）・パブリックコメントの実施をうけ平成22年10月6日国土交通省・文部科学省・農林水産省へ高梁市歴史的風致維持向上計画申請、平成22年11月22日に同計画認定

●計画期間は平成22年度～平成31年度までの10年間

●高梁市の維持向上すべき歴史的風致

歴史ある町並みや寺社などの歴史的建造物と、自然の恵を願う祭礼や神事が一体となって受け継がれ、良好な市外環境を形成している歴史的風致

1、城下町高梁に見る歴史的風致

①松山踊りに見る歴史的風致 ②城下町の祭礼に見る歴史的風致

2、銅とベンガラによる繁栄に見る吹屋の歴史的風致

3、備中神楽に見る歴史的風致

4、渡り拍子に見る歴史的風致

●歴史的建造物が集積し、伝統的な活動と一体となり風情・情緒をかもし出している。高梁地区と吹屋地区を重点地域に設定

●実施事業として、国内最古の現役木造小学校である吹屋小学校校舎保存修理事業、高梁市歴史的町並み保存地区整備事業、備中松山踊り保存伝承事業、無電柱化事業など10年間で計24事業を計画。

以上のように、ハード面の整備の他、伝承活動の支援や推進、新たな計画の策定などソフト面の整備も合わせての対策を計画しており、歴史的

風致の維持向上を図ろうとしている。

(3) 補助金の活用

●街なみ環境整備事業の補助制度を活用：景観重要建造物、歴史的風致形成建造物の活用（修理、移設、買取等）（補助率：1/2、1/3）協議会の活動の助成・空き家住宅等の除却・無電中化・道路の美装化等（補助率：1/2）

(4) 歴史的風致維持向上計画の他、高梁市観光・交流アクションプラン（案）を作成し平成24年度より実施予定

10の戦略プロジェクトとして、①地域に眠る資源の発掘と磨きかけ②地域資源を活かした体験プログラムづくり③持続可能な受入れ体制づくり④高梁市の観光・交流ものがたりづくり⑤おもてなしの心づくり・環境づくり⑥二次交通の充実化⑦快適回遊のための道路環境づくり⑧情報の受発信の充実化⑨地域イメージの発信・プロモーションの展開⑩品質管理の徹底と気品のある地域づくり、以上のように高梁市の観光振興に向けた基本戦略と具体的アクション（案）もたてている。ちなみに、年間観光客は現在65万人。

【所感】

歴史的風致維持向上計画を、国から認定されているのは、現在24団体と少なく意外であった。歴史的風致とは、単に歴史的な建物を残すというのではなく、その地で暮らしている人々の生活や習慣を含めてのことだというのが理解でき、その代表的なものが、備中松山踊りなどであり伝統芸能を継承していく為、地域の指導者が学校などに出向き指導をしているとの話も聞いた。これは、建物と人々の生活をセットで守っていくという計画で、行政指導の下で取り組んでいくものではなく、市民みんなで取り組み、歴史ある町並みや伝統芸能、習慣を残していくことができると感じた。そのこが、観光振興にも連動しているようだ。歴史ある町並みと考えると本市では厳しそうだが、歴史的建造物、伝統芸能や習慣などは、詳細に調査し継承・保全していくべきと思う。本市でも、国指定史跡や埼玉県有形文化財などもあり、歴史的な環境の保全・整備が必要。また、市指定無形民族文化財である安行原の蛇造りなどは、江戸時代中期から続いている行事でもあり継承していきたいと再認識した。今後、観光資源になりそうな物の洗い直しもおこなうべきと感じた。

3、浜松市：「男女共同参画推進センター」への視察報告

(1)「男女共同参画推進センター」の設置経緯等について

浜松市の青年団体、婦人団体が市民活動の場所を求め、市長要望し、昭和50年に活動拠点ができ、青年婦人協会が管理運営を行っていた。そして、平成15年度から現在の男女共同参画推進センターと位置づけられ、NPO法人浜松男女共同参画推進協会が年間2,000万円で、指定管理として管理運営を行っている。

(2)「男女共同参画推進センター」の事業内容と具体的な取り組み

男女共同参画推進のための啓発事業、情報提供事情、支援事業、相談事業、施設管理・運営事業を行っている。

●啓発事業

ビジネスマナーなどの就労支援講座、食育や肥満メカニズム等の女性のための健康講座、夏休み子ども講座、コミュニケーション講座、DV防止講座等35回の開催。中でもシニア講座が好評で、参加応募が募集定員の3倍近くあった。

●情報提供事業

ホームページ、図書コーナー、展示コーナー男女共同参画習慣でのチラシ配り、小規模自営業者に対する男女共同参画の意識調査、また、男女共同参画の漫画やイラストの募集での情報提供。特にホームページでは、図書情報を掲載している。また、浜松市は、自営業者が多く、事業者に対し男女共同参画への意識調査を行ったが、男女共同参画の意識改善が必要であるとの結果が出ている。

●団体育成支援事業

市内の男女共同参画に関連する団体、女性団体等、子育て支等を行っている団体に呼びかけ市内ネットワーク作りを3年前から年3回の情報交換会の開催している。

また、市民フォーラムも実施している。

●相談事業

専用の相談室が2室あり、日曜・祝日を除く毎日実施している。年間の相談件数は、平成22年度で1,238件あり、特に悩み事相談が多くなっている。また、男性相談、女性法律相談、就労相談、DV電話相談も実施をしている。悩み事相談は、特にDVの相談が多く、相談件数は年間1,033件ある。

また、男性相談は、男性の相談員が対応している。さらに女性相談は女性弁護士が対応をしている。さらに年代では、60代が一番多くなっている。

(3) 所感

平成11年6月に男女共同参画基本法が施行され、本市においても平成13年10月に男女共同参画計画が策定された。男女の人権の尊重にもある通り、各自治体が男女共同参画社会の推進に取り組んできた。今回の浜松市の視察で感じたことは、市民から活動する拠点が欲しいとの要望から拠点づくりがなされ、それが発展し、現在の指定管理者での運営が行われている点は今後の川口の推進の仕方でも参考になるのではないかと思う。また、男女共同との観点から男性の相談事業を行っている事や、一度出産等で仕事から離れた方等が、就労支援相談により再就職をしている点も非常に重要であり、さらに定期的な実施は市民にとって重要な要素ではないかと思う。本紙においても男性相談や定期的な就労支援相談等を行う事が必要ではないかと感じた。